

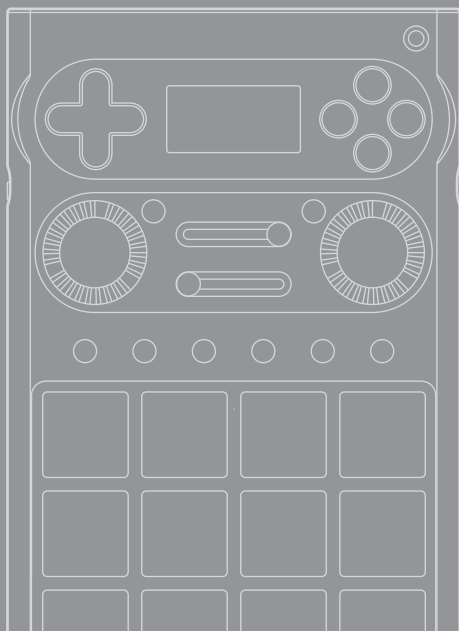
Portable
Standalone
Sampler

SXC-1

スタートアップガイド

ご使用前に取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

JA



CASIO Sampler App



取扱説明書
<https://s.casio.jp/f/10917ja/>



チュートリアル動画
<https://s.casio.jp/f/10924ja/>

CASIO®





M001JP010

あらかじめご了承ください

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。
- 本書および本機の使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- ご使用前に取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書に記載の準備や設定を行わずに使用すると、本機のご利用に支障が生じる可能性があります。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。
- 本書および取扱説明書の説明・表示例やイラストなどは、実際の製品と異なる場合があります。

安全上のご注意

 警告	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



○ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

警告

○ 指定品以外の USB ケーブルは絶対に使わない。

火災・感電の原因となります。

❗ 発煙・異臭・発熱などの異常状態では使わない。落としたり破損したまま使わない。

火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。

1. 電源を切る
2. USB ケーブルを外す
3. 「修理に関するお問い合わせ先」に連絡する。

注意

○ コネクター部に、指定品以外は接続しない。

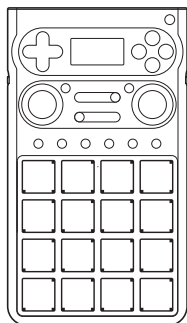
火災・感電の原因となることがあります。

本機の定格表示は電池ブタを開けた部分に記載されています。

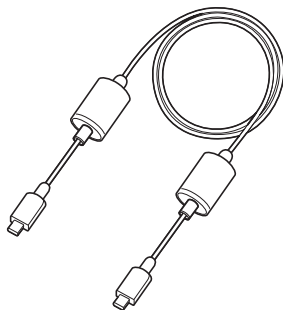
はじめに

ご使用になる前に、本体と付属品がそろっているか確認してください。

● 本体



● USB Type-C™ ケーブル



● 本書（保証書付）

本書について

本書は SXC-1（以下、本機）の基本的な操作を理解するためのスタートアップガイドです。初めてお使いになる方が、スムーズに基本操作を行えるように構成しています。

より詳しい各機能の説明や本機の仕様については、取扱説明書をご確認ください。

また、実際の遊び方や曲の作り方を映像で学べるチュートリアル動画もご用意しています。ぜひご活用ください。



取扱説明書

<https://s.casio.jp/f/10917ja/>



チュートリアル動画

<https://s.casio.jp/f/10924ja/>

CASIO Sampler App について

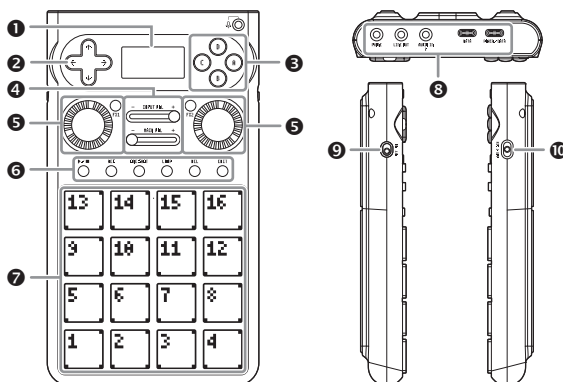
本機は、専用スマートフォンアプリ CASIO Sampler App に対応しています。CASIO Sampler App を使うことで、スマートフォンの画面で表示を確認したり、データの整理やダウンロードなど本機ではできない操作を行ったりすることができます。

アプリを使用する場合は、本機とスマートフォンを付属の USB Type-C ケーブルで接続します。



CASIO Sampler App

各部の名称

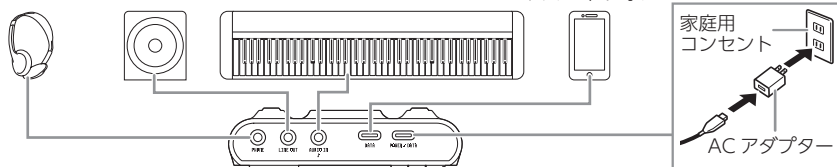


No.	項目	内容
1	表示部 (OLED ディスプレイ)	波形や設定など様々な情報を表示します。
2	十字ボタン	メニューの選択や値の変更などに使用します。
3	バンク選択ボタン (A/B/C/D)	演奏時に音色バンクやシーケンスを切り替えるときに使用します。
4	スライダー	<ul style="list-style-type: none"> INPUT VOL : 録音の入力レベルを調整します。 MAIN VOL : 内蔵スピーカーやヘッドホンの音量を調整します。
5	FX1 ボタン / ダイヤル FX2 ボタン / ダイヤル	音にエフェクトをかけたときや、波形を編集するときに使用します。ボタンで ON/OFF、ダイヤルでエフェクトの選択・パラメータの変更ができます。
6	機能ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ▶ / ■ : 再生・停止 REC : 録音 (サンプリング) 開始 / 停止 ONE SHOT : 全音再生の切り替え LOOP : ループ再生の切り替え DEL : 音源削除 EDIT : 編集モード切り替え (パラメーター・波形編集)
7	パッド部	音源を再生・録音・編集するときに使用します。各パッドには音源が割り当てられており、パッドを押すことで再生できます。
8	コネクタ部 ・ PHONE 端子 ・ LINE OUT 端子 ・ AUDIO IN 端子 ・ DATA 端子 ・ POWER/DATA 端子	ヘッドホンやイヤホンを接続します (3.5mm ステレオミニ)。ミキサーやスピーカーに接続して音源を出力します (3.5mm ステレオミニ)。外部機器を接続して音源を入力します (3.5mm ステレオミニ)。スマートフォンとのデータ通信 (MIDI/ オーディオ転送) 用の USB 端子です。電源供給とスマートフォンとのデータ通信 (MIDI/ オーディオ転送) 用の USB 端子です。
9	電源スイッチ	本機の電源を ON/OFF します。
10	INPUT SELECT スイッチ	録音する入力ソースを切り替えます。 MIC : 内蔵マイク / ♪ : AUDIO IN 端子 / USB : USB 端子

外部機器を接続する

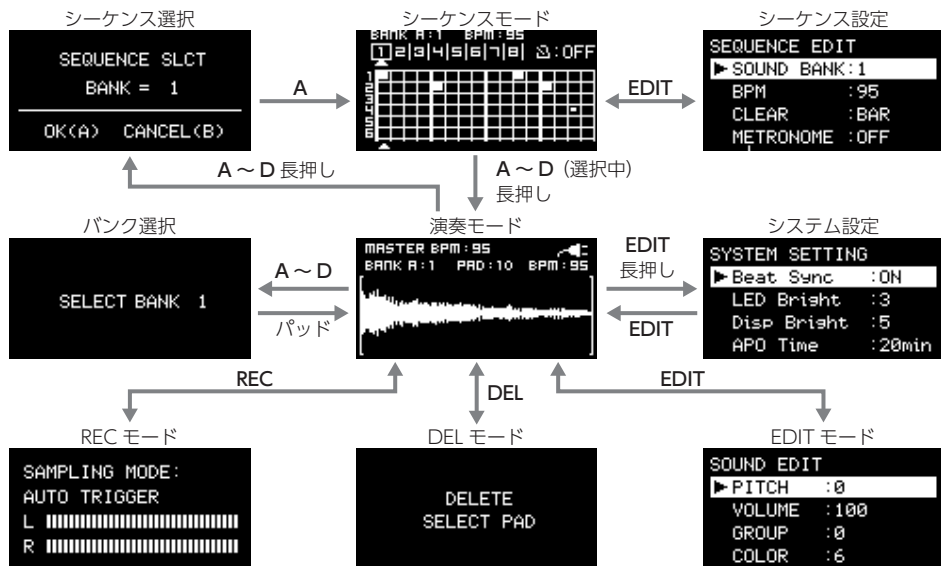
本機はヘッドホンや外部スピーカーなどを接続して使用できます。なお、本機にはマイクとスピーカーが内蔵されているので、外部機器を接続しなくても録音や再生が可能です。

接続例： ヘッドホン スピーカー キーボード スマートフォン



操作一覧

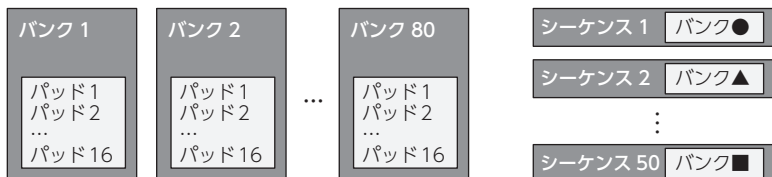
本機の機能一覧は下記の通りです。各機能の説明は対応のページをご覧ください。



機能	内容	参照先
演奏モード	演奏をする通常モードです。	—
バンク選択	A ~ D ボタンを短押しした後に、十字ボタンで A ~ D それぞれのボタンに登録するバンクを選択します。	—
シーケンス選択	A ~ D ボタンを長押しした後に、十字ボタンで A ~ D それぞれのボタンに登録するシーケンスを選択します。	—
シーケンスモード	十字ボタン、A/B ボタン、パッドを使って最大 8 小節のパターンを作成します。作成したパターンは演奏モードから再生できます。	P.9
シーケンス設定	シーケンスに使用するバンクや、BPM などの設定を変更します。	P.9
REC モード	内蔵マイクや USB ケーブルなどを使って外から音を取り込みます	P.11
DEL モード	パッドに登録した音を削除します。	P.12
EDIT モード	パッドに登録した音の音程や再生タイミングを変更します。	P.12
エフェクト機能	再生中の音に対して様々な変化を加えます。	P.10
システム設定	サンプラー全体に関わる設定を変更します。	—

バンクとは？ : パッドに登録された 16 個の音のグループ。本機では最大 80 個のグループを作成できます。

シーケンスとは？ : 1 つのバンクの音で作る最大 8 小節の演奏パターン。本機では最大 50 個のパターンを作成できます。



A ~ D ボタンに登録することで、バンクとシーケンスそれぞれ 4 つずつ同時に呼び出すことができます。

電源を入れて音を鳴らす準備をしよう

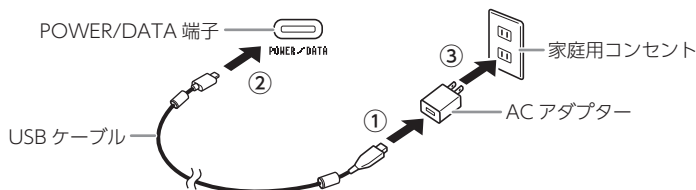
電源について

本機の電源には、別売の USB-AC アダプター (AD-XA06J Type-C) または市販の USB-AC アダプターをご使用ください。

市販の USB-AC アダプターを使用する場合は、USB 規格に適合した、出力 DC5V・1A 以上の製品をご使用ください。また市販の USB-AC アダプターに使用する USB ケーブルは、USB2.0 規格に適合した長さ 1m 以下の製品をご使用ください。

市販の単 4 形充電式ニッケル水素電池 eneloop (以下、eneloop) または単 4 形アルカリ乾電池もご使用いただけます。

接続例：別売の USB-AC アダプター (AD-XA06J Type-C) を使用した場合



電池を使う

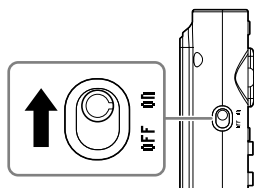
1. 本機の裏側にある電池ボタンをはずします。電池ボタンの突起部（“－”形状）を押しながらスライドすることで外すことができます。
2. 電池をセットします。
本機の印に合わせて、⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。
3. 電池ボタンを取り付けます。

※電池での連続使用時間の目安は、eneloop 使用時で約 2 時間です。アルカリ乾電池使用時や使用状況によっては、1 時間もしくはそれ以下になることがあります。

長時間の演奏や操作を行う場合は、USB-AC アダプターによる給電をおすすめします。

電源を入れる

1. 電源スイッチを [ON] の位置にスライドさせます。

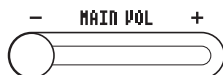


起動画面が表示され、本機が使用可能となります。

2. 本機の電源を切るには、電源スイッチを [OFF] の位置にスライドさせます。

音量の調整

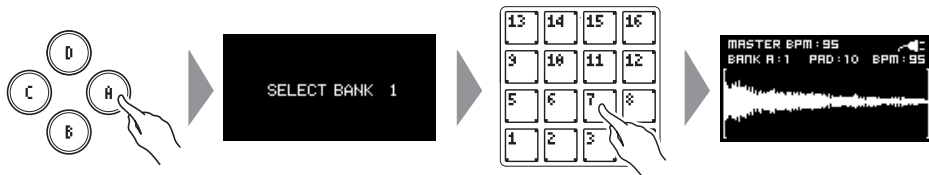
MAIN VOL のスライダーで、内蔵スピーカー、PHONE 端子の音量レベルを調整します。音を小さくしたいときはスライダーを左へ、音を大きくしたいときはスライダーを右へスライドさせます。



音を鳴らしてみよう

プリセット音源を使って演奏する

本機には、あらかじめプリセット音源が登録されています。A ボタンを押してバンク 1 を選択しましょう。A ボタンにバンク 1 が選択されていない場合は、十字ボタンで変更することができます。



プリセット音源では、ループ音源向きの音源データがオレンジやパープルのパッドに、ワンショット音源向きの音源データがイエローやブルーのパッドに登録されています。

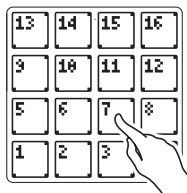
ループ音源：

繰り返し再生（ループ）することを前提として作られた、主にリズムやメロディのパターンとして曲のバックグラウンドを形成する音源データです。

ワンショット音源：

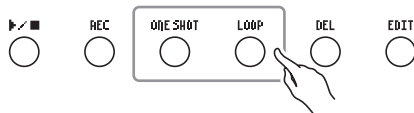
ドラムのキックやスネア、効果音など、一回だけ鳴らすことを前提とした単発の音源データです。

まずはオレンジやパープルのパッドを押し、ループ音源を再生しましょう。
再生された音源に合わせて、自由にイエローやブルーのパッドを押し、演奏をしてみましょう。



音の鳴らし方を変える

ONE SHOT/LOOP ボタンで、音の鳴らし方を変えてみましょう。ONE SHOT と LOOP を両方 ON にすることで、一度押したパッドを繰り返し再生し続けることができます。



ボタン	設定 ON のとき	設定 OFF のとき
ONE SHOT	パッドを押すと音源が最後まで再生される	パッドを押している間だけ再生される
LOOP	音源が最後まで再生されたら自動的に再生位置が最初に戻り、繰り返し再生される	音源が最後まで再生されたらそこで再生を停止する

▶ / ■ ボタンを押すことで、鳴らしている音源を停止することができます。

バンクを切り替えてみよう

バンクを切り替えて音を変える

A～Dの各ボタンには異なる音源バンクが登録されています。B/C/D ボタンを押して、他のバンクも演奏してみましょう。

また、A～Dボタンを押した後に十字ボタンを押すことで、4つのバンク選択ボタンに1～80の中から好みの音源バンクを登録できます。

1. A/B/C/D ボタンのどれかを押します。

選んだボタンに登録されているバンク番号が表示されます。



2. 十字ボタンで、バンク番号を切り替えます。上下ボタンで1ずつ、左右ボタンで10ずつ変化します。

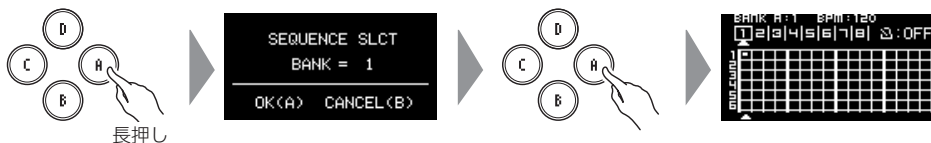


パッドを押すと、選択されたバンクに登録された音源が再生されます。

シーケンスを作ってみよう

シーケンスを作成する

バンク選択ボタン (A/B/C/D) のいずれかを長押しします。十字ボタンでシーケンスの保存先を選択し、A ボタンで決定します。シーケンスは最大 50 パターン作成できます。



まずは、十字ボタンと A/B ボタンを使って下記のようなパターンを作成してみましょう。シーケンスパターン情報の各マスにカーソル表示を合わせて A ボタンを押すと白く塗りつぶされ、B ボタンを押すとカーソル部分の音が削除されます。

小節 1 の 1 拍目でパッド 1 を再生する



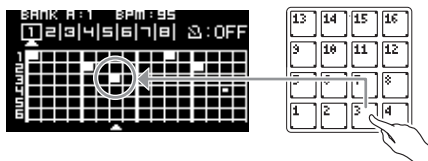
小節 1 の 2 拍目でパッド 2 を再生する

▶ / ■ ボタンを押すことで、作成したシーケンスが再生されます。EDIT ボタンを押すことで、使用する音源 (バンク) や BPM などの設定を変更することができます。再度 EDIT ボタンを押すことでシーケンスモードに戻ることができます。

パッドを使って入力する

REC ボタンを押すことで、再生中に押したパッドが、再生位置のシーケンスパターンに自動的に入力されます。

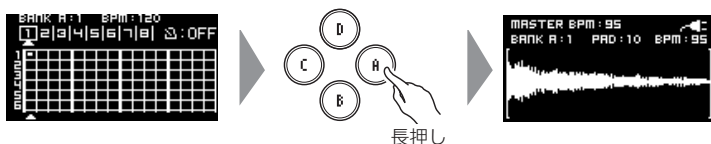
シーケンスの再生に合わせてタイミングよくパッドを押し、シーケンスに音を追加してみましょう。



演奏モードからシーケンスを再生する

作成したシーケンスは、演奏モードからも再生ができます。

選択中のバンク選択ボタン (点灯) を長押しして演奏モードに戻りましょう。



▶ / ■ ボタンとシーケンスを作成したバンク選択ボタンを同時押しすると、作成したシーケンスが再生されます。シーケンスに合わせてパッドを押して演奏しましょう。



エフェクトをかけてみよう

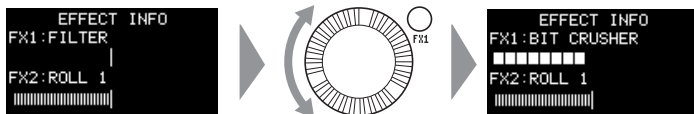
エフェクトをかける

再生中の音に「エフェクト」をかけると、まったく違う雰囲気 of の音に変えられます。フィルターでこもらせたり、ディレイで反響を加えたり、音を遊ぶ感覚でいろいろ試してみましょう。

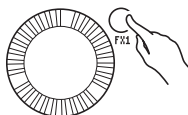
FX1/FX2 ボタンの使い方

■ FX1 について

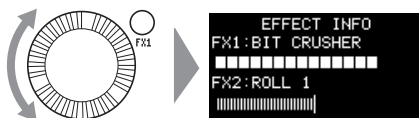
- FX1 **ダイヤル** でかけるエフェクトの種類を選びます。



- FX1 **ボタン** を押すとエフェクトが ON になります。もう一度 FX1 **ボタン** を押すと OFF になります。



- エフェクト ON 中に、さらに FX1 **ダイヤル** を操作するとエフェクトのパラメーターが変化します。



■ FX2 について

- 同様に、FX2 **ダイヤル** を使ってエフェクトの選択とパラメーターの変化、FX2 **ボタン** を使って ON/OFF を切り替えができます。
- FX1 と同時に使用することができます。

サンプリングしてみよう

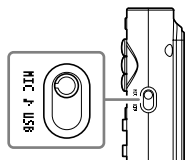
サンプリングする

サンプリングとは、内蔵マイクや外部機器の音源を録音してパッドに保存する機能です。手拍子などの身近な音や、好きな曲の一部を録音し演奏に使ってみましょう。

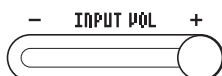
内蔵マイクで録音してみよう

内蔵マイクを使って、身近な音を録音してパッドに保存します。

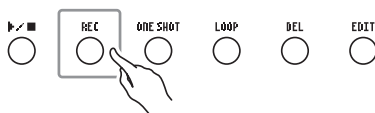
1. 空のパッド（光っていないパッド）があるバンク（BANK 15 以降）を選択します。
2. INPUT SELECT スイッチを操作して、入力ソースを MIC に切り替えます。



3. INPUT VOL のスライダーで録音レベルを調整します。



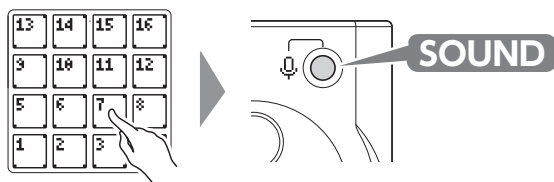
4. REC ボタンを押します。



サンプリングモードメニューが表示されます。

5. 空のパッドが点滅するので、保存したい空のパッドを押します。

パッドが点灯に変わり、録音待機状態になります。音源を入力すると、自動で録音を開始します。

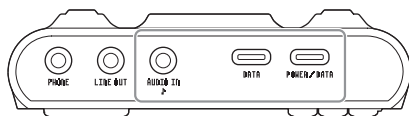


6. サンプリングを完了する場合は、選択中のパッドを押すか、もう一度 REC ボタンを押します。

外部音源を録音してみよう

AUDIO IN 端子や USB 端子を使用し、外部機器の音源を録音してパッドに保存します。楽器の演奏やスマートフォンの音源を録音してみましょう。

1. AUDIO IN 端子または USB 端子に外部機器を接続します。



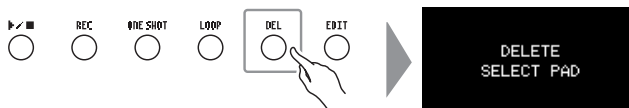
2. INPUT SELECT スイッチで入力ソースを選びます。AUDIO IN 端子に接続する場合は **♪** を、USB 端子に接続する場合は **USB** を選びます。
3. 同様に INPUT VOL で録音レベルを調整し、REC ボタンとパッドを選択して録音を開始します。

音を削除・編集してみよう

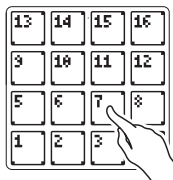
音源を削除する

不要になった音源は削除できます。

1. DEL ボタンを押します。音源が保存されているパッドが点滅します。



2. 削除したいパッドを押します。複数のパッドを押して複数選択することも可能です。



確認メッセージが表示されるので、A ボタンを押します。

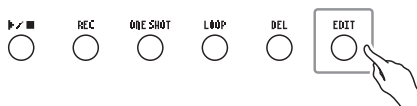


選んだパッドに登録された音源が削除されます。

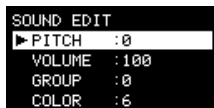
音源を編集する

録音した音は「EDIT モード」で編集ができます。スピードやピッチ（音の高さ）、音量などを調整して自分好みに仕上げてみましょう。

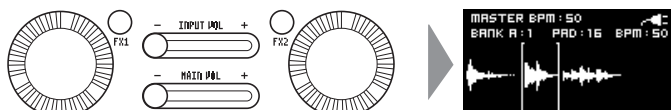
1. EDIT ボタンを押します。



2. パッドを押すと、選んだパッドの音源に設定されているパラメーターリストが表示されます。十字ボタンで値を変更できます。



3. FX1 ダイヤルで再生の開始位置を、FX2 ダイヤルで終了位置を編集できます。これにより、音源の一部だけを切り取って再生できます。



4. 編集が終わったら、EDIT ボタンを押します。編集した内容が保存され、LED が消灯します。

トラブルシューティング

トラブルが発生したときは、以下の内容を確認して対処してください。

■ 音が出ない

- ・ **MAIN VOL** のスライダーで音量を調整してください。
- ・ **PHONE** または **LINE OUT 端子** に、ヘッドホンや外部スピーカーなどが正しく接続されていることを確認してください。
※ **PHONE 端子** にヘッドホンなどを接続している場合、内蔵スピーカーからは音が出ません。

■ 録音できない

- ・ **INPUT SELECT スイッチ** が正しい位置であることを確認してください。
- ・ ストレージ残量が不足している場合があります。**DEL ボタン** で不要な音源を削除してください。
- ・ 空のパッドを選んで録音を開始してください。
- ・ 外部機器が接続されていることを確認してください。

■ アプリと接続できない

- ・ 本機とスマートフォンが、付属の USB Type-C ケーブルで接続されていることを確認してください。

■ 電源が入らない

- ・ 本機の **POWER/DATA 端子** に USB-AC アダプターが接続されていることを確認してください。
- ・ 新しい電池に交換してください。

初期化したいとき（工場出荷状態に戻す）

設定を初期化したいときは、次の手順で初期化できます。また、プリセット音源を削除した場合は、初期化によりデータを復元することができます。

※初期化した場合、サンプリングしたデータは削除されますのでご注意ください。

1. **EDIT ボタン** を長押しします。

「**システム設定**」が表示されます。

2. **十字ボタン**（上下）で **[Initialize]** を選び、**十字ボタン**（右）を押します。

確認画面が表示されます。

3. **A ボタン** を選びます。

本機の初期化が開始されます。

使用上のご注意

- ・落としたり、重いものを乗せたり、強くぶつかけたり、圧力をかけたりしないでください。故障の原因となります。また、硬いものと一緒にかばんに入れないようにご注意ください。
- ・ボールペンなど尖ったものでボタンやパッドを操作しないでください。
- ・表示部に強い力を加えたり、ボールペンなど尖ったもので突いたりしないでください。画面の一部はガラスでできていますので、傷ついたり、割れたりすることがあります。
- ・分解しないでください。分解により故障の場合は、保証期間内でも有料修理となります。
- ・電源を入れる前や、ヘッドホンを接続する前に本機の音量を最小にしてください。
- ・本書および取扱説明書に記載されていない使用方法で接続等しないでください。
- ・DATA 端子に接続する際には必ず付属の USB Type-C ケーブルをご使用ください。
- ・USB ケーブルや電池が外れた場合に、録音中のデータや設定などの情報が消えてしまうことがあります。確実に接続されていることを確認し、十分ご注意ください。
- ・スマートフォンを POWER/DATA 端子に接続すると、スマートフォンの機種によってはスマートフォン側から本機へ給電される場合があります（給電されない場合もあります）。スマートフォンからの給電を行わず通信したい場合は、スマートフォンを DATA 端子に、USB-AC アダプターを POWER/DATA 端子に接続してください。

■ 使用環境について

- ・次のような場所には置かないでください。
- 使用温度範囲を超える極端に暑い場所、寒い場所
- 直射日光の当たる場所、湿度やホコリ、砂の多い場所
- 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
- 日中の車内、振動の多い場所
- ・小さなお子様の手の届かないところでご使用ください。
- ・防水仕様ではありません。濡れた手で触ったり、水に濡らしたりしないでください。

■ 大切なデータは控えてください。

本機に記憶した重要な内容はバックアップを取ってください。本機の故障、修理などにより、記憶内容が消えることがあります。バックアップの詳細は取扱説明書をご確認ください。

■ オートパワーオフ

本機器は一定時間操作が行われない場合に自動的に電源がオフになる「オートパワーオフ機能」を搭載しています。

- ・設定時間
初期設定：20分
- ・電源の復帰方法
オートパワーオフが作動した場合は、電源スイッチを操作してください。通常の起動状態に戻ります。
- ・注意
オートパワーオフがオフの状態では電力を消費し続けるため、ご注意ください。
詳しい設定等は取扱説明書をご確認ください。



オートパワーオフをオフに設定すると自動で電源が切れなくなりしますので電力を消費し続けます。



電池に関する注意

● 爆発、または可燃性の液体もしくはガスの漏出をもたらす可能性があるため、次のことは避けてください。

- ・本機で指定されていない電池への交換
- ・火中または焼却炉への廃棄、機械的な押し潰しまたは切断
- ・使用、保管または輸送中に受ける過度の高温または低温
- ・使用、保管または輸送中に受ける過度の低い気圧

著作権に関するご注意

音楽、映像、コンピュータプログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者等の権利が保護されています。こうした著作物は、個人的に又は家庭内で使用する目的その他法令により認められた目的に限り利用することができます。上記の目的を超えて、権利者の承諾なくこれを複製、改変、譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、著作権等の侵害として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがありますので、本機を使用して著作物の複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

- ・本機に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、シーケンスパターン、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- ・本書に記載の条件を遵守した上で本機に内蔵、付属されたコンテンツを素材としてお客様が創作した著作物を演奏、録音、頒布等するにあたり、当社の許諾を必要としません。
- ・本機に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、または実質的に同一の形態で取り出し、利用（別の記録媒体に固定して頒布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることを含みます）しないでください。

商標について

次の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

- ・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・[eneloop] は、パナソニックグループの登録商標です。
- ・USB Type-C™ は、USB Implementers Forum の商標です。
- ・その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

2026年5月作成

MA2605-B

© 2026 CASIO COMPUTER CO., LTD.